

氏名	中村美千代	生年月日	1967年10月19日
所属・役職	特別研究員	経験年数（うち本業務の類似業務従事年数）	
		年（年）	
専門分野	市民教育、民主政治		
所有資格			
経歴（職歴／学位）	1990年3月 広島大学総合科学部総合科学科（アメリカ研究）卒業（教養学士） 1990年4月 中国新聞社入社（記者職） 1997年9月 コロンビア大学国際関係公共政策大学院入学 1999年5月 コロンビア大学国際関係公共政策大学院卒業（国際修士号） 1999年6月～2005年10月 米国でフリージャーナリストとして活動 （朝日新聞社の「論座」、時事通信の「世界週報」などに執筆） 2014年7月 公益財団法人未来工学研究所入所（特別研究員） 現在に至る		
所属学会等			
業務の実績			
業務名	業務内容		
対外発表の実績	<b>【雑誌への寄稿】</b> 「「9・11」後強まった米国のメディア規制」世界週報（2002年6月25日号 時事通信社）  「政治を変えた議会議中継TV」論座（2002年8月号 朝日新聞社）  「批判精神失わないアメリカー情報の自由の危機の中で」新聞研究（2002年9月号 日本新聞協会）  「社会的地位を確立した米国NPO」世界週報（2002年10月29日号 時事通信社）  「実践的な米国の市民教育から学ぶもの」世界週報（2003年3月25日号 時事通信社）  「情報の自由の侵害とメディア」論座（2003年8月号 朝日新聞社）  「死票を減らす新制度の試み」論座（2004年2月号 朝日新聞社）  「カネ 大統領候補とパトロン、政治資金規制」論座（2004年4月号 朝日新聞社）  「「知る権利」より安全保障を優先 ブッシュ政権下で情報統制強化」世界週報（2004年11月16日号 時事通信社）  「米市議選で採用された新選挙システム より民意を反映する「順位付け投票」、サンフランシスコで」世界週報（2005年2月8日号 時事通信社）  <b>【翻訳書】</b> 「アメリカを変えた M 世代—SNS・YouTube・政治再編」（モーリー・ウィノグラッド（著）、マイケル・D・ハイス（著）、横江公美（監訳）、中村美千代（翻		

	訳) 岩波書店 2011年)
	<p><b>【講演実績】</b></p> <p>2006年4月 三重県四日市市のNPO法人「市民社会研究所」でアメリカの市民教育（シチズンシップ教育）について講演</p> <p>2012年1月 広島外語専門学校で「アメリカを変えたM世代」について講演</p>
調査分析協力	<p>「政策連携」の時代 ―地域・自治体・NPOのパートナーシップ」（上山信一（著） 日本評論社 2002年）</p>

\*複数ページ可。

\*業績については、フォームは自由とします。